

各 位

上場会社名 株式会社 ヤマザキ
代表者 代表取締役社長執行役員 山崎 好和
(コード番号 6147)
問合せ先責任者 取締役上席執行役員総務部長 今場 浩和
(TEL 053-433-1200)

業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025年11月4日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。また、2026年3月期において進めている事業構造改革により、特別損失の発生についてお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2026年3月期通期連結業績予想数値の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,534	△2	5	1	0.23
今回修正予想(B)	2,337	△247	△259	△350	△78.90
増減額(B-A)	△197	△245	△264	△351	
増減率(%)	△7.8	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	3,093	77	84	57	12.91

修正の理由

売上高につきましては、輸送用機器事業においては、期末に向けて販売の増加により当初予想を上回る見込みであります。工作機械事業においては、客先による設備投資計画の見直しにより、期末に販売を予定していた専用工作機械の受注が翌期以降にずれ込んだため、当初予想を下回る見込みであります。

利益につきましては、輸送用機器事業において、販売の増加に対応するための人件費の増加等により営業利益及び経常利益共に当初予想を下回る見込みであります。工作機械事業においては、販売の減少に伴う利益の減少に加え、専用工作機械の一部案件において、当初想定を大幅に上回る追加作業の発生により、過大な付随費用が発生しております。当該費用の負担関係については、得意先と協議を進めておりますが、現時点では回収の見込みが不透明なため、利益の減少要因となっております。このため営業利益及び経常利益共に当初予想を大幅に下回る見込みであります。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記理由に加え、下記特別損失の計上により当初予想を下回る見込みであります。

●特別損失の計上について

当社及び連結子会社において、事業環境の変化に合わせ利益改善を図るため、不採算事業の縮小及び事業の見直しに係る事業構造改革を進めております。第2四半期に、連結子会社において事業構造改善費用16百万円(固定資産の除却損及び特別退職金)を計上しておりますが、さらに同じ連結子会社において棚卸資産の除却損及び追加の特別退職金を含め43百万円、当社において固定資産の減損損失20百万円等を合わせた計80百万円を事業構造改善費用等として通期連結決算において特別損失を計上する見込みであります。

以 上